

## 柏崎市農業施策等に関する意見書

責職におかれましては、本市の農業・農村振興に積極的に取り組まれるとともに、農業委員会活動に対しましてご理解をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、30年問題、農業従事者の高齢化や後継者・担い手不足など、極めて厳しい状況にあります。

このような情勢の中、農業経営の安定化を図り、意欲ある先進的な担い手を育成し、地域農業の持続的な発展を促す施策により、食料・農業・集落に関する諸課題への取り組みをさらに進めていく必要があります。

つきましては、必要な施策の改善策等について、下記のとおり意見書を提出します。

### 1 農地の基盤整備の促進について

担い手への農地集積・集約を進め、農作業の効率化・生産コストの低減を図る必要があると考えます。

改正土地改良法の趣旨を十分に活かし、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備の促進と、既存施設の更新整備を今後も引き続き、事業主体である新潟県・土地改良区との連携を強化し、ほ場整備事業の推進を図っていただきたいと思います。

ほ場整備を進めるにあたり、地域によって地理条件や農家数が異なるため、合意形成がなかなか進まない地域がある状況です。推進の必要性や理解を深めるため、行政による取組みの強化をお願いします。

大規模経営の農家だけでなく、3ヘクタールほどの中小規模農家についても、ほ場整備に取組みやすい環境づくりをお願いします。

また、地域の実情に応じた簡易な畦畔除去や暗渠排水の整備など、耕作条件の改善につながる関係予算の十分な確保をお願いします。

## 2 新規就農の定着に向けて

担い手の高齢化と後継者不足と言われているなか、関係機関の取組等により当市においては新規就農者や、認定農業者などの担い手と言われる若い農業者が育ちつつあります。

次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成・支援のため、引き続き資金面の支援や他産業と連携などして、持続可能な産業へ向けてご尽力いただきますようお願いいたします。

## 3 有害鳥獣対策の強化について

農作物の有害鳥獣の被害防止対策につきましては、毎年、補助事業等の活用により電気柵の設置等にご尽力いただいているところです。

この有害鳥獣対策については、毎年のように意見させていただいた項目であり、農作物の被害防止対策は年々充実してきていると感じております。しかしながら、特にイノシシ被害については、被害地域が年々拡大しており、山際だけでなく平地の田んぼ近くの畑まで被害が出ているのもまた、事実であります。

このことから、イノシシの個体数の減少には至っていないと感じております。このままでは、田畑の被害だけでなく人的被害が心配されるところです。個体数減少のための捕獲体制の更なる強化をお願いします。

また捕獲後の有害鳥獣の処理について、食肉として有効利用する場合に助成を行うなど、対策の強化をお願いします。

## 4 自然災害等への備えについて

酷暑や集中豪雨、大型台風や地震など予期せぬ災害に備え、農地を始めたため池・ダム・堤防や、農業関連施設の耐久性調査や強靱化対策などの構築をお願いします。

## 5 農業委員会の予算について

農業委員会が行う農地利用状況調査や意向調査、農地利用調整活動及び農業委員・推進委員の資質向上等を実施するために、必要な財源を確保し、適切な予算措置をお願いします。

平成30年11月20日

柏崎市長

櫻井雅浩様

柏崎市農業委員会

会長 黒坂正春